

(様式1)

## 職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

平成27年10月8日

文部科学大臣殿

名古屋工業大学学長  
鶴飼 裕之 印

下記の課程を職業実践力育成プログラムに申請します。

## 記

①学校名:	名古屋工業 大学	②所在地:	愛知県名古屋市昭和区御器所町				
③課程名:	大学院工学研究科博士前期課程 社会工学専攻短期在学コース	④正規課程/履修 証明プログラム:	正規課程	⑤開設年月日:	平成28年4月1日		
⑥責任者:	伊藤 孝行 教授	⑦定員:	10名	⑧期間:	1年		
⑨申請する課程 の目的・概要:	技術力に裏打ちされた技術経営に基づく市場価値の創造を基本理念とし、新事業創造や地域の産業技術政策を立案し、遂行する能力をもつ人材の育成をめざす。						
⑩4テーマへの 該当の有無		⑪履修資格:	大学卒業あるいはそれに相当する学力を有するもの(資格試験を課す)				
⑫対象とする職 業の種類:	企業経営の中核をなす経営トップ層の人材あるいは技術者						
⑬身に付けること のできる能力:	技術経営を基盤とした企画力		政策立案能力				
⑭教育課程:	企業戦略特論、技術戦略特論をはじめとする技術経営を基盤とした企画及び政策立案に関する基礎的な知識を習得するとともに、産業戦略コリキュウムⅠ、Ⅱにおいて、自身の持ち込み課題をテーマとするリサーチペーパー(修士論文に相当)に指導を行う。産業戦略事例研究Ⅰ、Ⅱにおいて、自身の持ち込みテーマを受講者で共有化し、グループディスカッションを中心に研究のブラッシュアップを図る。また、共通テーマを設定し、技術経営演習を行う。産業戦略プレゼンテーションⅠ、Ⅱではプレゼンテーション力及びビジネス英語力の向上を図る。						
⑮修了要件(修 了授業時数等):	本学博士前期課程の修了要件である30単位の取得とリサーチペーパー(修士論文に相当)審査の合格						
⑯修了時に付与さ れる学位・資格等:	修士(工学)あるいは修士(学術)						
⑰総授業時数:	43 単位	⑱要件該当授 業時数:	24単位	該当 要件	1, 2	⑲要件該当授業時数 /総授業時数:	55%
⑳成績評価の方法:	論文審査(リサーチペーパー)、レポート、プレゼンテーション及び出席状況						
㉑自己点検・評 価の方法:	本コースの自己点検・評価は大学認証評価および本学が実施する自己点検、授業評価に含まれる。 また、本コース独自に学生からの評価を聴取する。						
㉒修了者の状況に 係る効果検証の方 法:	本コースの効果検証は本学が実施する卒業生アンケート調査に含まれる。						
㉓企業等の意見 を取り入れる仕 組み:	(教育課程の編成) 企業等を含めた教育課程の編成の検討や取組に関する評価を行う社会工学専攻短期在学コース会議(毎月1回定期開催)を設置している。この会議体に産業界の学生の所属する企業からの意見を反映させる。本コースの運営のために新たにカリキュラムコーディネータを雇用し、意見聴取の役割を担うことになる。 (自己点検・評価) 上記カリキュラムコーディネータが中心となり、社会人学生の上司から意見を聴取する。						
㉔社会人の受講 しやすい工夫:	講習開始時間を考慮(昼夜開講、夜間開講あるいは土曜日の集中講義) 情報機器を整備した社会人のための研究室を設置						
㉕ホームページ:	(URL)http://www.nitech.ac.jp/edu/in/mta.html						

事務担当者名:	戸田 直樹	所属部署:	名古屋工業大学学務課
連絡先:	(電話番号)052-735-5069 (E-mail)gakumuka@nittech.ac.jp		

\*パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。